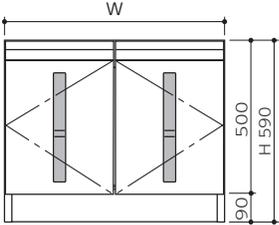


# 取付・取扱説明書

## リターンBOX・FX-R

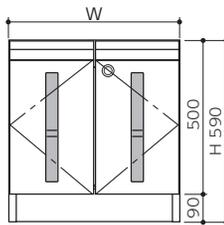
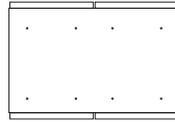
### ■前入前出用



| 付属品        |      |  |  |
|------------|------|--|--|
| ① アンカープラグ  | 4    |  |  |
| ② 木ネジ・平座金  | 4セット |  |  |
| ④ ナイロンリベット | 14   |  |  |

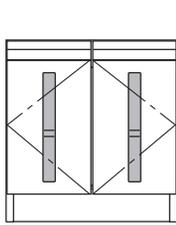
| 型式          | W   | H   | D   |
|-------------|-----|-----|-----|
| FX-RF928-HL | 560 | 590 | 412 |
| FX-RF936-HL | 720 |     | 332 |

### ■前入後出用



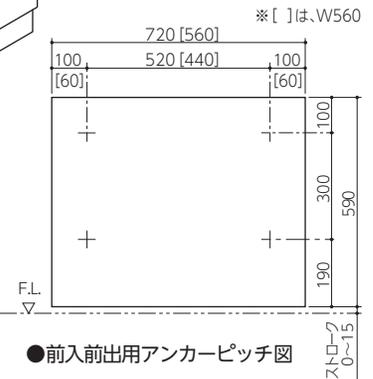
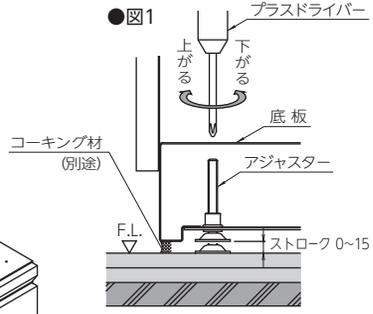
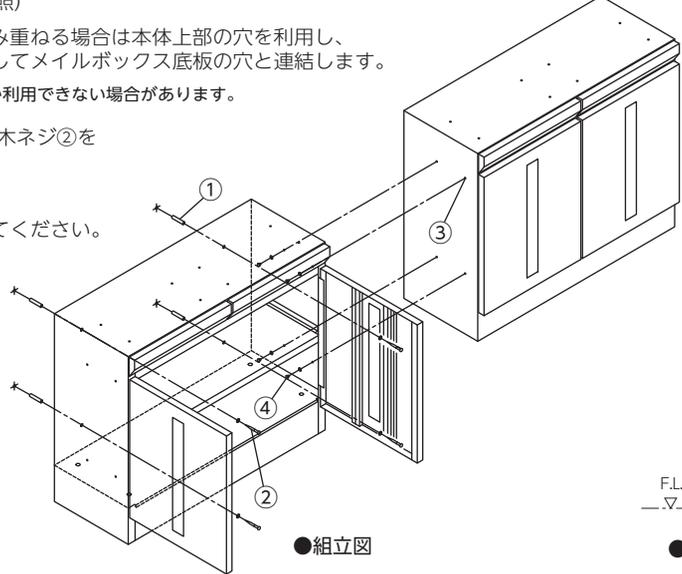
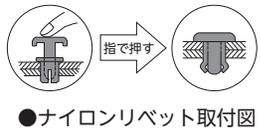
| 付属品        |    |
|------------|----|
| ④ ナイロンリベット | 14 |

| 型式          | W   | H   | D   |
|-------------|-----|-----|-----|
| FX-RB49-HL  | 560 | 590 | 400 |
| FX-RB63-HL  | 600 |     | 430 |
| FX-RB928-HL | 560 |     | 430 |
| FX-RB936-HL | 720 |     | 350 |



- ※1) 本体を設置場所に並べます。
- ※2) ステンレス底板を斜めに持ち上げると本体底板にアジャスター調整孔がありますので、プラスドライバーを使い水平をだします。(図1) **▲** 棚板を外さないと底板は外れません(裏面参照)
- 3) アンカーピッチ図にしたがいアンカープラグ①を壁に打ち込みます。(組立図参照)
- 4) 扉を開け、本体の内側から木ネジ②で本体を全て仮止めします。
- 5) 4) の作業を繰り返し、本体仮止めを終わらせます。
- ※6) 左右に隣接する穴③にナイロンリベット④を打ち込みます。(ナイロンリベット取付図参照)
- ※7) 上部にメールボックスを積み重ねる場合は本体上部の穴を利用し、ナイロンリベット④を使用してメールボックス底板の穴と連結します。  
**▲** 組み合わせによって一部の穴しか利用できない場合があります。
- 8) 6)、7)の作業が終了した後、木ネジ②を強く締めつけます。
- ※9) 床仕上面と本体の隙間をコーキング材(別途)で埋めてください。

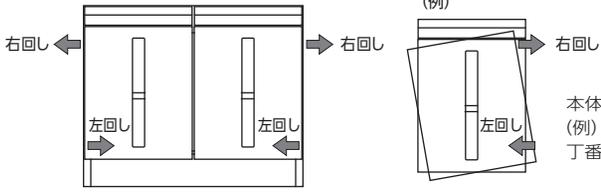
※印は前入後出用の手順です。



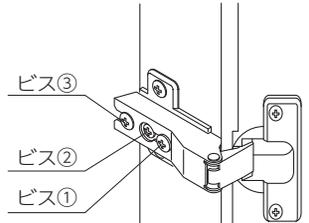
### ■スライド丁番での扉の調整方法

#### ●左右方向の調整

ビス①を回すと扉の傾きが調整できます。

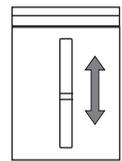


本体設置後、扉の傾きを直す時に有効です。  
(例)の場合は上の丁番のビス①を右に、下の丁番ビスを左に回すと水平が保てます。



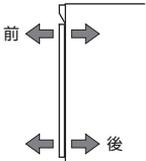
#### ●上下方向の調整

ビス②をゆるめると上下方向の調整ができます。位置が決まったらビスを締めてください。



#### ●前後方向の調整

ビス③をゆるめると出入り方向の調整ができます。位置が決まったらビスを締めてください。  
注) 扉を片手で支えて調整してください。



- ビス① 扉の左右方向の調整
- ビス② 扉の上下方向の調整
- ビス③ 扉の出入り方向の調整

※ 設置終了後、本書を管理責任者の方に必ずお渡しください。

## 取付けについて

### ●取り出しのスペースを十分にとってください

正面から扉の開閉操作が十分に行なえる場所へ設置してください。側面や片手でしか操作できない場所には設置しないでください。扉に挟まれたり、擦過傷を負うなど危険です。

### ●床に据え付けてください

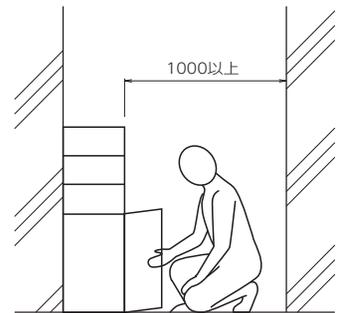
床据え付けタイプです。必ず床面に設置してください。本製品同士を積み重ねて設置しないでください。

### ●床据え付け以外の方法で取り付けないでください

製品の裏面が露出する取り付け(ポールや棚への取り付け等)をすると裏板でケガをする恐れがあります。また、取り付け強度も不足し、危険です。

### ●本製品は屋内仕様です

常に外気に触れる場所に放置しないでください。



※板金製のため保護用手袋を着用して、作業してください。

※内・外装工事がある場合は製品に養生を施してください。

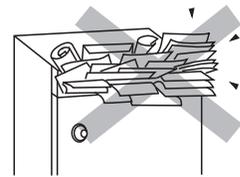
製品の据え付け後、内・外装工事を行う場合は製品の養生を必ず行ってください。工事によるチリ・ホコリなどが錠前に影響を与え、作動異常をおこしたり、ステンレスに付着したままにしておくと、もらいサビをおこす場合もあります。

※本体に「ねじれ」が生じると扉や錠前の事故の原因となりますので注意して取り付けてください。

## 取扱いについて

### ●定期的に内容を点検してください

定期的に内容を点検してください。長期遺留物や不適切と思われる物が入っている場合には、内容物の別途保管、場合により開梱・廃棄などの処理が必要です。



### ●定期的なお手入れが必要です

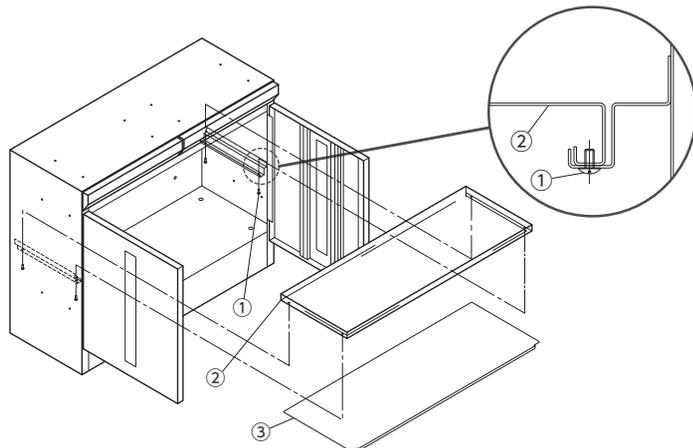
常に清浄に保つよう、定期的なお手入れが必要です。柔らかい布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。その後、から拭きして水分を完全に取り除いてください。ベンジン、シンナー、みがき粉、タワシなどを使って清掃することはお避けください。変色、キズ、塗装ハクリの原因になります。



製品の細部までお手入れされる場合は、板金製のため手を切る恐れがありますので、必ずゴム手袋などで手を保護してください。

### ●棚板、底板のお手入れ方法

棚板、ステンレス底板の取り外しが可能です。棚板を固定しているビス①を外し棚板②、ステンレス底板③の順で取り外します。



※取り付けの際は必ず底板③から取り付けてください。